

2009年度 実技研修会 報告

夏休みも半ばとなった8月10日、アウィーナ大阪で、実技研修会（夏の教材製作講習会）を行いました。

突然の台風接近で天候が危ぶまれる中、86名の参加者によって、熱心な研修が行われました。

今年も、象の会の内藤壽・松永榮一・朝井翔二各先生にお出でいただき、多くのことを学ぶことができました。午前中の研修では今までの教材などの紹介と説明。次々と楽しい教材が3人の先生のユーモアあふれるお話とともに飛び出してきて、それらの教材によって子どもたちが生き生きと動く姿が目に見えようと思われました。



いろいろな教材を、一人ひとりのニーズに合わせて作られてきた実践を具体的に話していただき、その発想と工夫に感心させられるとともに、わかりやすい説明には感謝と感激いっぱいでした。

午後は、次の6つの教材の制作の講習でした。



数字の歌、QQペン、吹き矢
ぱたぱた、雨樋くす玉、かなコロリン

教材によっては、一部、続きは持ち帰って… というものもありましたが、講師の方のていねいな説明のおかげで、ほとんどの人が完成させることができました。

短時間で多くのことが学べた。さっそく2学期、授業で試してみたい。子どもたちの反応が楽しみです。…

このような感想を書かれた方がたくさんおられました。

また、参加者が充実した製作研修ができたのは、教材の準備や下ごしらえを講師の方がかなりの時間と手間をかけて

行ってくださっていた、ということです。QQペンのハンダづけ、くす玉の穴あけ、…。難しいところ、手間のかかるところ、その多くを作ってくださっていました！ 有難うございました。

参加者の方からはアンケートで貴重なご意見を多く頂きました。当日の受付・進行や時間設定(昼休みなど)について、今後の参考にすべきことが多くありました。とくにインターネット・電子メールでの参加申し込みに関しては、改善・検討の余地が大きいと思います。ご意見有難うございました。

また、来年も象の会の方に研修をお願いしたい、という方が多かったです。参加してよかった、と多くの方に思っていました。本当に講師の3人の方にはお礼申し上げます。

同時に、このように教えてもらうだけでなく、これから私たち自身が、子どもたち一人ひとりをみつめ、そのニーズに合った教材を自分たちで考え創造していけるようにならないといけない、という思いも強くもちました。象の会の皆さんの実践をぜひ継承し、広めていかねばならないですね。

(文責 書記 佐藤正幸)

象の会のホームページ → <http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/>

参加されたからのアンケートより

(多くのご意見ありがとうございました。一部のみ紹介させていただきます)

1. 午前の部の解説について

- ・ いろいろな教材を昼に手にとれてよかった
- ・ 結局、目のつけどころというか、センスを磨かないとせつかくのネタも活かせないなあと思いました。
- ・ とても色々教材を見せて頂き、子ども達の喜ぶ顔が目には浮かぶ感じでお話を聞かせて頂きました。特にあの絵がとてもかわいく気に入りました。
- ・ 今までの教材教具の紹介で、使用方法や発達課題に対してどのような教材が個別に必要なのかが分かったものでした。大変よかったです。
- ・ たくさんの教材の紹介があり、すぐに活かせそうな内容もあったので役に立ちました（少し見えにくかったのが残念です）。更にもっと身近な材料を使う教材を教えてください。
- ・ ありがとうございます。本校でも、担任している子供の教材に使えるものがたくさんありました。さっそく明日から作って活用したいと思います。
- ・ 一人ひとりにあった教材はとてもむずかしいなあと思いましたが、子どものわくわく感は大切にしていきたいなあと思いました。
- ・ ロープウェイ！！今年支援学校に入ってきた1年生の子の運動会どうするのか...とっていましたが、練習からは是非使って見たいと思います。いろいろなヒントを頂き、有難かったです。
- ・ 数多くの教材を紹介して頂いて大変参考になりました。教材とは...というお話から、教材を使ったゲームの実践まで興味深く楽しく勉強させて頂きました。早速、授業で活用してみたいです。
- ・ どの教材も魅力的で作ってみたいと思いました。玉入れなども、数を数えなくても投げられなくても楽しめる方法があると分かり、参考になりました。マグネットの玉落としも、なるほど！！と思いました。走るのが好きでない子にスチロールトレイ風車はすごくいい！！と思いました。
- ・ ひとりひとりの子どもの様子を見つめながら、できることを生かして課題を達成しようとする姿勢、そしてそれを楽しんでおられるところが、素晴らしいと思いました。教材も参考になるものが多かったです。ありがとうございました。
- ・ 一つ一つ丁寧に解説して下さったので、分かりやすくおもしろかったです。ロープウェイは、まだまだまっすぐに走れない幼児も安心して走れるし、道具もロープとラップの芯だけでできるので、やってみようと思います。他にも、幼稚園でも使える教材をたくさん教えて頂いたので、よかったです。

2. 午後の教材作成について(教材名もお書きください)

◎ 数字の歌

- ・ 数字の数唱の出来る子がいるので、これで遊びながら使いたい。ていねいに教えて頂きました。
- ・ なんでそうなるの？と、とても不思議であったが、作製してみると目からウロコであった。
- ・ 解説の時は、どうなっているんだろうとすごく不思議でしたが、実際つくってみて納得でした。

◎ QQペン

- ・ たいへん丁寧にご指導頂きました。たくさんのハンダ付け…大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・ 最初から作るのには難しそうだなぁと思いました。さっそく2学期から使ってみようと思います。
- ・ 一人ひとりのペースに合わせてくれたり、待ってくれたり、あせらずに参加でき、質問も気軽に受けて下さりとても良かったです。準備が大変だったんだろうと思います。ありがとうございました。
- ・ 子ども達が喜びそうです。QQペンのペン型は少し難しいですね。もし完成することがあれば教えて下さい。
- ・ はんだづけも内藤先生がやって下さったおかげで、簡単に作る事が出来ました。きっと幼稚園で使ったら子ども達に大人気だと思います。

◎ 吹き矢

- ・ 子どもが喜びそうな教材で2学期が楽しみです。又先生が言葉の発達について話して下さったのがいい勉強になりました。
- ・ 子どもにも作らせたいと思います。
- ・ 言語の概念のお話も聞けてよかった。
- ・ 作るもの自体は簡単だが、いろいろ応用できそうで2学期が楽しみです。作っている間の先生のお話がとてもよかったです。

◎ ぱたぱた

- ・ 以前から同じ市内の方が作っておられるのを見ていましたが、カードケースで、市販ではなくて作れませんでした。この機会にとまって作製することが出来ました。7種類全部GET！しました。2学期から実演できるよう練習します。
- ・ 少し難しかったですが、無事出来て良かったです。いろいろな絵を入れて楽しめたらと思います。
- ・ むずかしい（ややこしい）けど、出来た時はやったーという達成感を味わえました。
- ・ とても親切に教えて頂き無事に完成しました。2学期に子ども達に早く見せてあげたいです。

◎ 雨樋くす玉

- ・ 大がかりですが子どもの喜ぶ顔が見えそうです。

◎ かなコロリン

- ・ 手作りでもいいかいができて、どの子にも喜ばれる教具です。バリエーションの多い工夫ができるところがいいなと思いました（自分で）。
- ・ 箱作りは大変だったけど、箱をつくってしまえば、かなだけでなく、いろんな応用ができるので、どんどん使っていきたいです。
- ・ 実物を見ていても作り方を知らず、今日参加しました。カーブは少し難しかったですが、楽しんで作らせてもらいました。
- ・ 作り方は一見複雑かと思いましたが、やってみるとそうでもなく、楽しく作ることができました。年長児がちょうど字に興味を持ちだしているのので、これで言葉遊びなどを2学期にさっそくやってみようと思います。中身もいろいろ違えても使ってみたいと思います。

◎ QQペン・雨樋くす玉

- ・ ひとりでは作るののできないものを作らせていただいてありがたかったです。担当している子どもにQQペンを使える子はいませんが、「くす玉」の方はいつでもどこでも役に立ちそうで、

いい財産が出来ました。

◎ 数字の歌・雨樋くす玉

- ・ 早速使わせて頂きます。出来上がった後の生徒達の嬉しそうな顔が目にかびました。
- ・ それぞれ目からウロコ。特にくす玉は形を見た時に、くす玉は丸いイメージだったので楽しくなってきました。事前準備を丁寧にして頂いているので、申し訳ないし有難いと思います。ゆっくり丁寧に説明して頂いたので、よく分かりました。数字の歌は材料が少し手に入りにくそうなのが残念です。絵がとても素敵でした。教材作製が2つだったので、他に作りたいものもあり、凄く迷いました。

◎ 数字の歌・ぱたぱた

- ・ 朝井先生のととても分かりやすい説明のおかげで出来上がって嬉しく思います。ありがとうございました。

◎ 吹き矢・かなコロリン

- ・ どちらも分かりやすく教えて頂けて良かったです。一人で本を見て作るにはやっぱり難しそうですので...

◎ 数字のうた・かなコロリン

- ・ 「へ〜っ!!」の連続でした。こんなアイデアでこんなおもしろいものができるのかあ、と感動しました。とてもたのしかったです。さっそく学校で使ってみようと思います。

3. この研修会の運営全体について（参加申し込み～事前準備～当日運営 その他）

- ・ 開始時刻を10時にして昼食時間帯を1時間から1時間30分に伸ばしていただけたら、ゆとりを持って食事に行けますが.....。
- ・ 事前...事前にどの実技講習会になったかが分かれば（メールなどで知らせていただければ）準備物なども用意しやすかったです。当日...初めから終わりまで、とても充実した内容で感激でした。
- ・ メールでの申込だったので少し『本当に申し込んでいるのかな?』と不安に感じました。
- ・ 自宅から参加申込ができてスムーズで良かったです。運営をさせていただいている先生方、お疲れ様です。
- ・ 初めて参加させていただきましたが良かったです。実際に教具も見せて頂いたので参考になりました。
- ・ ネットでの申込、事前にOKかどうかわからなく不安でした。
- ・ 申込、第3希望までであったので書き入れましたが、どの希望の教材になるかよく分からなかったこと。教材ごとに準備物が必要ですが、準備物の確認が出来なかったことが不安でした。HPに全部掲載してほしいです。
- ・ できれば作りたい物を希望して作れると良かったです。今回は同じ学校で参加した3人が同じ教材を作ることになったので、違う教材を作ることができればよかったかなと思いました。
- ・ 今日参加できて良かったです。メール申込は少し難しかったですよ。
- ・ 参加申込がメールで返信なし（自動で）だったので、本当に申込ができていないか少し不安でした。準備物の欄が、あわてて読むと、袋だけだったり個別の材料だけになりそうでした。ゴミは持ち帰りではなく、一カ所に捨てる方が助かります。

- ・ 駄目な場合は事前に連絡するということではありましたが、もう少し早く可能とか、ちがう教材に回るとか連絡があれば安心できたかなあと思いました。
- ・ 時間が丁度よかったです。（午前1時間半、午後1時間半ずつ）。場所もホテル自体がきれいで快適でした。いろいろ準備等大変だったと思いますが、ありがとうございました。

4. 大支援研として、これから、どのような研修会や講演会を行えばよいでしょうか。

- ・ “象の会”ってどんな会かなと思いました。もう少し紹介してもらったらなあと思います。また、こんな教材の会を開いてもらえたらと思います。
- ・ いつも夏季の教材作り、楽しみにしています。来年も宜しくお願いします。
- ・ ニュースの配信をもっと早くして下さい。
- ・ これからも今日のような、すぐに役立つ教材作りがしてみたいです。本当に役に立ちましたし、とても楽しかったです。また参加させていただきたいです。ありがとうございました。
- ・ 日々の教育活動の中で具体的な支援の方法を教えてください。今日はありがとうございました。
- ・ また新しい教具ができたなら是非教えていただきたいです。本日はありがとうございました。
- ・ ICFを生かした個別の指導計画の作成について研修したいです。
- ・ 色々な校種や学年で(少しの工夫でやさしくも難しくもできるような)使えるものを教えて下されば有難いです。
- ・ 手作り教具は、やはりありがたいです。特別支援の児童（学習障害）文字獲得の方法。
- ・ 1～20までの数の教材をまた教えてください。子ども達の必要から生まれた教材ですね。すぐにできそうな物から作って見たいと思います。
- ・ 具体的な教材作りや、それを生かした具体的な授業の話はすぐに役立つのではと思います。

